

LRQA独立保証証明書

BIPROGY グループの 2025 年度温室効果ガス排出量インベントリ、環境データに関する保証

この保証証明書は、契約に基づいて BIPROGY 株式会社に対して作成されたものである。

保証業務の条件

LRQA リミテッド (LRQA) は、BIPROGY 株式会社 (以下、組織という) からの委嘱に基づき、2025 年度 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日) BIPROGY グループの温室効果ガス (以下、GHG という) 排出量インベントリ、環境データ (以下、報告書という) に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE 3000 (改訂版) および温室効果ガス (GHG) については ISO14064-3:2019 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、組織およびその国内外連結対象子会社 34 社の拠点と国内および海外での事業活動、および以下の要求事項を対象とする。¹

- 選択された環境データが組織の定める報告方法に従っていることを確認すること。
- 下記の選択された指標の環境データ²と情報の正確性および信頼性を評価すること。
 - 温室効果ガス排出量^{3,4} スコープ 1 (t-CO₂e)
 - 温室効果ガス排出量 スコープ 2 (t-CO₂e) ロケーションベースおよびマーケットベースによる
 - 温室効果ガス排出量 スコープ 3 (t-CO₂e) カテゴリ 1-15⁵
 - エネルギー使用量 (GJ、MWh、kL)
 - 購入電力のうち、再生可能エネルギー由来の電力の割合 (%)
 - 都市ガス (m³)、A 重油 (kL)、ガソリン (kL)、LPG (m³)、温水 (GJ)、冷水 (GJ)、蒸気 (GJ) 使用量
 - 取水量 (m³)
 - 排水量⁶ (m³)
 - 廃棄物排出量⁷ (リサイクル、埋立、焼却、その他) (t)
 - 紙使用量 (kg)

保証業務の範囲は、報告書に言及されている組織のサプライヤー、業務委託先、その他第三者のデータおよび情報を除く。また、データが把握できないテナント施設での事業活動からの GHG 排出量、取水量、排水量は、組織の環境データインベントリから除外している。

LRQA の責任は、組織に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は組織以外へのいかなる義務または責任を放棄する。組織は報告書内の全てのデータおよび情報の収集、集計、分析、公表、および報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は組織によって承認されており、その責任は組織にある。

LRQA の意見

LRQA の保証手続において、組織が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 別添の表 1-1, 1-2⁸, 1-3, 1-4⁹, 1-5, 2, 3, 4 に要約された GHG 排出量と主な環境データについて正確かつ信頼性のあるデータと情報を開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

¹ 温室効果ガス排出量および環境データの対象は組織およびその国内外連結対象子会社 34 社。

² 外部データセンターサービスを利用しているデータセンター分は、温室効果ガス排出量スコープ 3 カテゴリ 1 に含み、その他の環境データに含まない。

³ GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。

⁴ スコープ 1 および 2 排出量の定義は、The Greenhouse Gas Protocol – A Corporate Accounting and Reporting Standard による。また、豊洲本社ビルでの 2025 年度冷凍空調機器の廃棄時の HFC 漏洩を算定に含んでいない。なお、スコープ 1 は海外での活動も環境省算定・報告・公表制度の係数を使用し算定され、Scope 2 マーケット基準に関して、海外での活動は IEA のロケーション係数で代替している。

⁵ スコープ 3 排出量のカテゴリは、Greenhouse Gas Protocol – Corporate Value Chain (Scope 3) Accounting and Reporting Standard, Table 5.3 の定義による。また、カテゴリ 5 GHG 排出量は BIPROGY グループのうち国内の企業活動のみを対象とする。

⁶ 排水量データが収集出来ない箇所は取水量と同量が排水されたとして算定されている。

⁷ 廃棄物排出量は BIPROGY グループのうち国内の企業活動のみを対象とする。

⁸ スコープ 1 は海外での活動も環境省算定・報告・公表制度の係数を使用し算定されている。

⁹ スコープ 2 マーケット基準の算定は、日本以外の国について IEA のロケーション係数で代替している。

表明された意見は、限定的保証水準¹⁰および検証人の専門的判断による重要性に基づいて決定された。

LRQA の保証手続

LRQA の保証業務は、ISAE 3000 (改訂版)および温室効果ガス (GHG) については ISO14064-3:2019 に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れおよび誤りが無いことを確認するための、組織のデータマネジメントシステムを審査した。LRQA は、内部検証を含め、データの取扱いおよびシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2025 年度の環境データに関する記録および情報の検証を行った。
- データマネジメントシステムの運用状況を評価するため、BIPROGY 株式会社本社、BIPROGY 中部支社への訪問、およびユニアデックス東京サービスセンターについて、e-mail および Microsoft Teams によるリモート検証を行った。

観察事項

保証業務を通じた更なる観察および発見事項は以下である。

組織は、その環境データの完全性、透明性、正確性の継続的な改善に資するデータマネジメント構築とその維持が期待される。

LRQAの基準、力量および独立性

LRQAは、少なくともISO 14065「温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認および検証を行う機関に対する要求事項」およびISO/IEC17021-1「適合性評価—マネジメントシステムの審査および認証を行う機関に対する要求事項 - 第1部：要求事項」の品質管理に関する国際規格の要求事項を満たし、また、国際会計士倫理基準理事会より発行されている職業会計士のための倫理規定に従った包括的なマネジメントシステムを運用し、維持している。

LRQAは、その資格、トレーニングおよび経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証および認証審査の結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRQAが組織に対して提供している業務は検証のみであり、そのためLRQAの独立性あるいは公平性を損なうものではない。

署名

日付: 2026年6月18日

Sho-taro Kamabata



川端 将太郎
LRQA 主任検証人
LRQA リミテッド

由岐中一順
LRQA テクニカルレビューア

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA10F

LRQA reference: YKA00001035

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2026.

¹⁰ 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

別添

表 1-1. BIPROGY グループの 2025 年度 GHG 排出量インベントリの要約 (スコープ 1)

		Scope1(t-CO ₂ e)
対象社会計		1,088.50
個社別 (3 4 社)	BIPROGY (株)	725.04
	ユニアデックス (株)	280.67
	UEL (株)	38.76
	(株) トレードビジョン	1.45
	(株) 国際システム	5.90
	G&U システムサービス (株)	0.00
	USOL ベトナム (有)	0.31
	ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ (株)	0.00
	Cambridge Technology Partners Inc.	0.00
	(株) エイファス	2.19
	エス・アンド・アイ (株)	5.81
	キャナルベンチャーズ (株)	0.31
	Canal Ventures Collaboration Fund 1 号投資事業有限責任組合	0.00
	CVCF2 投資事業有限責任組合	0.00
	Axxis Consulting (S) Pte. Ltd.	0.00
	Axxis Technologies (S) Pte. Ltd.	0.00
	Axxis Consulting (M) Sdn. Bhd.	0.00
	Emellience Partners (株)	0.05
	BIPROGY USA, Inc.	0.00
	Netmarks Information Technology (Shanghai) Co., Ltd.	0.00
	(株) ユニエイド	0.00
	BIPROGY チャレンジド (株)	16.50
	UEL (Thailand) Co., Ltd.	11.25
	グリーンデジタル&イノベーション (株)	0.27
	V-Drive Technologies (株)	0.00
	AFON IT Pte. Ltd.	0.00
	AFON Systems Pte. Ltd.	0.00
	AFON Technologies Pte. Ltd.	0.00
	Nexus System Resources Co., Ltd.	0.00
	Nexus System Resources Holdings Co., Ltd.	0.00
	iByte Solutions Sdn. Bhd.	0.00
	BIPROGY and Translink Sustainability & Innovation Fund,L.P.	0.00
	Mattrz (株)	0.00
	カタリナマーケティングジャパン (株)	0.00

表 1-2. BIPROGY グループの 2025 年度 GHG 排出量インベントリの要約（スコープ 1 拠点所在国別）

	スコープ 1 (t-CO ₂ e)
タイ王国	11.25
日本	1,077.25

表 1-3. BIPROGY グループの 2025 年度 GHG 排出量インベントリの要約 (スコープ 2) ¹¹

		Scope2 【ロケーション基準】 (t-CO ₂ e)	Scope2 【マーケット基準】 (t-CO ₂ e)
対象社会計		8,587.30	4,852.25
個社別 (34社)	BIPROGY (株)	5,696.34	2,407.20
	ユニアデックス (株)	2,244.68	1,790.76
	UEL (株)	63.73	34.49
	(株) トレードビジョン	9.20	3.65
	(株) 国際システム	50.65	73.96
	G&U システムサービス (株)	29.18	28.63
	USOL ベトナム (有)	147.10	145.91
	ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ (株)	25.69	22.44
	Cambridge Technology Partners Inc.	0.00	0.00
	(株) エイファス	14.02	5.47
	エス・アンド・アイ (株)	183.40	217.96
	キャナルベンチャーズ (株)	2.20	0.99
	Canal Ventures Collaboration Fund 1 号投資事業有限責任組合	0.00	0.00
	CVCF2 投資事業有限責任組合	0.00	0.00
	Axxis Consulting (S) Pte. Ltd.	8.82	8.82
	Axxis Technologies (S) Pte. Ltd.	0.00	0.00
	Axxis Consulting (M) Sdn. Bhd.	4.20	4.20
	Emellence Partners (株)	0.34	0.13
	BIPROGY USA, Inc.	0.00	0.00
	Netmarks Information Technology (Shanghai) Co., Ltd.	6.58	6.58
	(株) ユニエイド	8.29	9.49
	BIPROGY チャレンジド (株)	2.20	1.00
	UEL (Thailand) Co., Ltd.	4.52	4.52
	グリーンデジタル&イノベーション (株)	1.73	0.71
	V-Drive Technologies (株)	0.00	0.00
	AFON IT Pte. Ltd.	2.71	2.71
	AFON Systems Pte. Ltd.	7.85	7.85
	AFON Technologies Pte. Ltd.	8.32	8.32
	Nexus System Resources Co., Ltd.	34.69	34.69
	Nexus System Resources Holdings Co., Ltd.	0.00	0.00
	iByte Solutions Sdn. Bhd.	17.34	17.34
	BIPROGY and Translink Sustainability & Innovation Fund,L.P.	0.00	0.00
	Mattrz (株)	4.57	4.89
	カタリナマーケティングジャパン (株)	8.94	9.56

¹¹ スコープ2 のロケーションベースとマーケットベースは、GHG プロトコルスコープ2 ガイダンス 2015 年版定義による。

表 1-4. BIPROGY グループの 2025 年度 GHG 排出量インベントリの要約（スコープ 2 拠点所在国別）

	Scope2 【ロケーション基準】 (t-CO ₂ e)	Scope2 【マーケット基準】 (t-CO ₂ e)
シンガポール共和国	27.70	27.70
タイ王国	39.21	39.21
ベトナム社会主義共和国	145.12	145.12
マレーシア	21.54	21.54
中華人民共和国	6.58	6.58
日本	8,347.15	4,612.10

表 1-5. BIPROGY グループの 2025 年度 GHG 排出量インベントリの要約（スコープ 3）¹²

GHG 排出量		t-CO ₂ e
スコープ 3 GHG 排出量		730,927.94
	カテゴリ 1 購入した製品・サービス	351,538.10
	カテゴリ 2 資本財	39,589.16
	カテゴリ 3 Scope1,2 に含まれない 燃料およびエネルギー活動	1,822.31
	カテゴリ 4 輸送、配送（上流）	2,891.08
	カテゴリ 5 事業から出る廃棄物	88.92
	カテゴリ 6 出張	5,453.26
	カテゴリ 7 雇用者の通勤	1,596.52
	カテゴリ 8 リース資産（上流）	該当なし
	カテゴリ 9 輸送、配送（下流）	該当なし
	カテゴリ 10 販売した製品の加工	該当なし
	カテゴリ 11 販売した製品の使用	327,849.70
	カテゴリ 12 販売した製品の廃棄	98.89
	カテゴリ 13 リース資産（下流）	該当なし
	カテゴリ 14 フランチャイズ	該当なし
	カテゴリ 15 投資	該当なし

¹² スコープ 3 のうち、カテゴリ 8 はスコープ 1&2 に、カテゴリ 9 はカテゴリ 4 にそれぞれ含めている。カテゴリ 13 および 15 は全体に対する割合が微少のため算定対象外とする。カテゴリ 10、14 は対象となる事業がない。

表 2. BIPROGY グループの 2025 年度環境データの要約

環境データ	数値
エネルギー使用量	197,237.44 GJ
同上	27,584.88 MWh
同上	5,088.73 kL
廃棄物排出量	466.13 t
リサイクル	344.65 t
埋立	0.01 t
焼却	72.14 t
その他	49.33 t
紙使用量	10,421.73 kg

表 3. BIPROGY グループの 2025 年度エネルギー使用量データの要約

エネルギー使用量データ	数値
購入電力	19,430,975.70 kWh
購入電力のうち、再生可能エネルギー由来電力	9,366,594.55 kWh
購入電力のうち、再生可能エネルギー由来の電力の割合 (%)	48.20 %
都市ガス	409,455.50 m ³
A 重油	9.10 kL
ガソリン	94.87 kL
LPG	897.00 m ³
温水	260.43 GJ
冷水	5,880.45 GJ
蒸気	0.00 GJ

表 4. BIPROGY グループの 2025 年度取水量および排水量データの要約

		取水量(m³)	排水量(m³)
対象社合計		46,254.91	46,254.91
個社別 (34 社)	BIPROGY (株)	41,287.96	41,287.96
	ユニアデックス (株)	2,204.81	2,204.81
	UEL (株)	104.50	104.50
	(株) トレードビジョン	16.83	16.83
	(株) 国際システム	123.25	123.25
	G&U システムサービス (株)	0.00	0.00
	USOL ベトナム (有)	51.70	51.70
	ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ (株)	339.11	339.11
	Cambridge Technology Partners Inc.	0.00	0.00
	(株) エイファス	25.64	25.64
	エス・アンド・アイ (株)	68.00	68.00
	キャナルベンチャーズ (株)	3.63	3.63
	Canal Ventures Collaboration Fund 1 号投資事業有限責任組合	0.00	0.00
	CVCF2 投資事業有限責任組合	0.00	0.00
	Axxis Consulting (S) Pte. Ltd.	1.20	1.20
	Axxis Technologies (S) Pte. Ltd.	0.00	0.00
	Axxis Consulting (M) Sdn. Bhd.	812.00	812.00
	Emellence Partners (株)	0.62	0.62
	BIPROGY USA, Inc.	0.00	0.00
	Netmarks Information Technology (Shanghai) Co., Ltd.	0.00	0.00
	(株) ユニエイド	0.00	0.00
	BIPROGY チャレンジド (株)	3.63	3.63
	UEL (Thailand) Co., Ltd.	2.72	2.72
	グリーンデジタル&イノベーション (株)	3.11	3.11
	V-Drive Technologies (株)	0.00	0.00
	AFON IT Pte. Ltd.	17.80	17.80
	AFON Systems Pte. Ltd.	51.70	51.70
	AFON Technologies Pte. Ltd.	54.90	54.90
	Nexus System Resources Co., Ltd.	798.89	798.89
	Nexus System Resources Holdings Co., Ltd.	0.00	0.00
	iByte Solutions Sdn. Bhd.	239.91	239.91
	BIPROGY and Translink Sustainability & Innovation Fund,L.P.	0.00	0.00
	Mattrz (株)	43.00	43.00
	カタリナマーケティングジャパン (株)	0.00	0.00